

9月6日：VN指数は後場に反発 (VN-Index +0.45%)

- VN 指数は前日終値から上昇して取引を開始したものの、前場の中盤には反落し始め、下落幅を拡大させた。
- 対照的に後場では買い方が優勢の展開となった。下落幅を縮小するにとどまらず、上昇幅まで確保した。8月のCPIが前年同期比で堅調に推移したことが明らかになり、それが好感されたことが要因の一つと考えられる。
- 化学、情報技術セクターが市場全体をけん引したが、その一方で旅行・レジャーセクターが下落し重しとなった。
- 192銘柄が上昇、212銘柄が下落、64銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は下落し、6.7%減の15.4兆ドンとなった。

VN30 指数も市場全体に追随 (VN-30 +0.48%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、22銘柄が上昇、6銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。
- 上昇銘柄ではMSN (+2.56%)、VRE (+2.03%)、PLX (+1.95%)などが顕著であった。
- 一方でSSB (-2.70%)のみが大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- ベトナム国家統計局は消費者物価指数 (CPI) の結果を発表した。8月のCPIは昨年12月から1.89%上昇した。今年8か月の推移を平均すると、昨年同期比で4.04%の上昇であった。
- VHM (+0.34%)による3.7億株の自社株買戻しが同社株主によって承認された。同社はこの1か月間で自己資本を40兆ドン増額させている。
- 外国人投資家は2313億ドンの買い越し。FPT (-1.80%)が中心に大きく買い越された一方、売り越しはVHM (+0.34%)に徹底的に集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。